



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 ダイワボウホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 3107 URL <https://www.daiwabo-holdings.com/>

代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 西村 幸浩

問合せ先責任者 （役職名） 財務管理室長 （氏名） 花岡 博之

TEL 06-7739-7300

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	313,148	7.8	7,701	△22.0	7,873	△22.1	5,795	△19.5
2026年3月期第1四半期	290,601	27.5	9,876	131.1	10,111	123.3	7,195	133.7

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 6,748百万円（△3.0％） 2026年3月期第1四半期 6,957百万円（84.0％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	66.82	—
2026年3月期第1四半期	80.19	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	476,946	169,761	35.6
2026年3月期	462,072	169,829	36.8

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 169,761百万円 2026年3月期 169,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	50.00	—	55.00	105.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		55.00	—	55.00	110.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	567,050	△13.7	16,500	△26.5	16,600	△26.6	11,400	△27.6	131.16
通期	1,189,000	△12.0	36,500	△17.4	36,700	△18.3	25,300	△21.0	291.09

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	88,479,028株	2026年3月期	88,479,028株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	2,153,637株	2026年3月期	1,565,462株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	86,734,574株	2026年3月期1Q	89,726,349株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな景気回復がみられましたが、緊迫化する中東情勢などの地政学リスクによる資源・エネルギー価格の高騰、米国の通商政策や円安の継続による物価影響やA I需要の拡大に伴うメモリ価格の高騰など先行きについては不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）の対象期間を「事業ポートフォリオ変革による躍進期」と位置づけ、グループ基本方針として「ホールディングス体制での成長」「“過去最高”へのチャレンジ」「ステークホルダーエンゲージメントの向上」を掲げ、中長期ビジョンである『2030 VISION』の実現における重要な挑戦期間として引き続き企業価値の向上に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は313,148百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は7,701百万円（前年同期比22.0%減）、経常利益は7,873百万円（前年同期比22.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,795百万円（前年同期比19.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(I Tインフラ流通事業)

A I需要の拡大に伴うメモリ価格の高騰等により市場のP C価格が上昇する中、値上げ前の戦略的な仕入を通じて、供給価格の安定化に努めました。あわせて、Windows10サポート終了（E O S）対応やG I G Aスクール端末更新需要で培った顧客基盤を活かし、案件創出や関連商材の提案を推進し、持続的な需要獲得に取り組みました。また、各地域のD X推進を支援するため、新規テクノロジーベンダーの開拓やオリジナルサービスの開発・展開を進めるとともに、サブスクリプション管理ポータル「i K A Z U C H I（雷）」を活用したサブスクリプションビジネスの拡大にも注力しました。市場別の売上高は、企業向けにおいてWindows10 E O Sに伴うP C需要の反動減があったものの、サーバーを中心とした大型案件を獲得したことにより前年同期を上回る実績となりました。官公庁向けは、多数のP C案件獲得が寄与し、前年同期を上回る実績となりました。文教向けは、G I G Aスクール第2期の需要ピークは越えたものの、高校向けG I G Aスクールや校務関連の大型案件を獲得したことにより前年同期を上回る実績となりました。個人向けにおいても、E C・量販店ともに前年同期を上回る結果となりました。一方で営業利益においては、原材料や仕入価格の上昇に対する販売価格への転嫁が一部追いつかなかったことに加え、大型案件の受注により、利益額・利益率ともに前年同期を下回りました。

以上の結果、当事業の売上高は310,098百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益は7,461百万円（前年同期比21.4%減）となりました。

(産業機械事業)

工作機械部門では、造船やエネルギー業界からの受注が引き続き好調に推移したことに加え、主力の航空機業界においても回復が続いたため、受注高は前年同期比で大幅に増加しました。一方、売上高については、前年同期に大型機の売上計上があった反動や当期の売上高が、第2四半期に集中する見通しであることから前年同期比で減少しました。これに伴い、営業利益についても同様に前年同期を下回る結果となりました。自動機械部門では、本体製品の販売台数が前年と比べて減少したため、売上高・営業利益ともに前年同期比で減少しました。

以上の結果、当事業の売上高は3,050百万円（前年同期比21.1%減）、営業利益は236百万円（前年同期比37.7%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、商品及び製品の増加等により前連結会計年度末に比べて14,873百万円増加し476,946百万円となりました。また、負債は、短期借入金増加等により前連結会計年度末に比べて14,941百万円増加し307,185百万円となり、純資産は、自己株式の取得等により前連結会計年度末に比べて67百万円減少し169,761百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月13日に公表しました連結業績予想から変更をしておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,152	6,643
受取手形	486	328
売掛金	274,279	266,867
電子記録債権	27,706	33,500
商品及び製品	58,720	105,776
仕掛品	3,255	4,241
原材料及び貯蔵品	165	173
その他	16,784	24,008
貸倒引当金	△41	△40
流動資産合計	426,508	441,500
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,990	3,594
その他（純額）	8,564	8,288
有形固定資産合計	12,555	11,882
無形固定資産		
のれん	1,051	1,013
顧客関連資産	812	783
その他	4,488	4,268
無形固定資産合計	6,351	6,065
投資その他の資産		
その他	16,701	17,540
貸倒引当金	△43	△43
投資その他の資産合計	16,657	17,497
固定資産合計	35,564	35,445
資産合計	462,072	476,946

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	234,698	238,088
短期借入金	10,904	29,237
未払法人税等	7,472	2,130
賞与引当金	2,868	1,551
その他の引当金	454	153
その他	21,635	21,350
流動負債合計	278,035	292,511
固定負債		
長期借入金	7,465	7,531
役員株式給付引当金	404	426
退職給付に係る負債	267	190
その他	6,071	6,524
固定負債合計	14,208	14,673
負債合計	292,243	307,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,696	21,696
資本剰余金	7,941	7,941
利益剰余金	137,189	138,189
自己株式	△4,288	△6,309
株主資本合計	162,538	161,517
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,806	6,765
繰延ヘッジ損益	190	163
為替換算調整勘定	84	94
退職給付に係る調整累計額	1,209	1,220
その他の包括利益累計額合計	7,290	8,244
純資産合計	169,829	169,761
負債純資産合計	462,072	476,946

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	290,601	313,148
売上原価	268,502	292,466
売上総利益	22,099	20,682
販売費及び一般管理費	12,222	12,980
営業利益	9,876	7,701
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	199	182
販売支援金	83	69
その他	15	31
営業外収益合計	308	292
営業外費用		
支払利息	48	65
金融手数料	8	23
その他	17	30
営業外費用合計	73	120
経常利益	10,111	7,873
特別利益		
固定資産売却益	—	566
関係会社清算益	270	—
特別利益合計	270	566
税金等調整前四半期純利益	10,381	8,439
法人税、住民税及び事業税	2,298	1,924
法人税等調整額	888	719
法人税等合計	3,186	2,644
四半期純利益	7,194	5,795
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,195	5,795

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	7,194	5,795
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88	959
繰延ヘッジ損益	12	△27
為替換算調整勘定	△357	10
退職給付に係る調整額	19	11
その他の包括利益合計	△237	953
四半期包括利益	6,957	6,748
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,034	6,748
非支配株主に係る四半期包括利益	△77	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式588,000株の取得を行いました。この取得等により、当第1四半期連結累計期間において自己株式が2,021百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が6,309百万円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	385百万円	603百万円
のれんの償却額	37	37

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I T インフラ 流通事業	産業機械事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	286,734	3,866	290,601	—	290,601
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23	—	23	△23	—
計	286,757	3,866	290,624	△23	290,601
セグメント利益	9,492	379	9,871	4	9,876

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I T インフラ 流通事業	産業機械事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	310,098	3,050	313,148	—	313,148
セグメント間の内部売上高 又は振替高	72	—	72	△72	—
計	310,170	3,050	313,220	△72	313,148
セグメント利益	7,461	236	7,698	3	7,701

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。